



校訓：進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 1月号

平成31年1月8日

校長 西田 素子

謹んで新年のお慶びを申し上げます

今年亥年。十二支を植物の一生と考えると、戌年でたわわに実った果実が種子となり、「エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をする」という意味がある年なのだそうです。今年、英田っ子の内なる力を充実したものにし、それを自信にかえ、イノシシのように勢いよく勇気を出して行動できる一年にしたいものです。

さて、今日から始まった3学期は52日間(6年生は47日間)です。あっという間に過ぎてしまうことがないように、1日1日の生活、1時間1時間の授業を大切にしていきたいものです。保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に引き続きご支援賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



【1月の目標】

学習：「最後までしっかり話す」「もう一度言えるように聴く」

→1回で伝わるように、文の終わりまでしっかり話すことを大事にします。単語で話すのではなく、文章で自分の意見が言えるように、繰り返し指導していきます。

生活：「進んであいさつしよう」「安全に気をつけよう」

→登下校時にお会いする地域の方へ、自分からさわやかに挨拶できると素敵ですね。

校内の廊下歩行の様子が随分と良くなってきました。引き続き意識を高めていきたいです。

1年間の総仕上げ ～ 有言実行で目標を達成させよう ～

新学期の始まりは、物ごとの取組への新たなる期待と共に、挑戦への意欲を高めてくれます。それだけに、今学期何をできるようにしたいのか、どのような自分でありたいのか、そのために何をすべきかを、自分自身で意識することが大切です。特にこの3学期は、次の学年へ進むために、その学年に求められる力をしっかり身に付けたいものです。

今日の始業式では、1年間の総仕上げを行い、その学年らしい姿となって卒業したり、進級したりできるように、「4+1のがんばり」を期待しているという話をしました。4つのルールを当たり前のようにすること、1つ決めた3学期の目標を有言実行でやり遂げることを目指してほしいと思います。どんな目標に決めたのか、是非ご家庭でも話題にさせていただき、励ましの言葉をお願い致します。3学期に完璧にしたい4つのルールは、以下の通りです。

①児童玄関の使い方

傘はひもを巻いて内側に立てる、内履きズックはズッパなしで踵を揃えて入れる。これは既にほとんどの人ができていることです。素晴らしい伝統として受け継いでいきたい姿です。

②学びの足跡の残るノートづくり

日付と課題、まとめやふりかえりを書くこと、下敷きをしき、線は定規で引くことなどのルールを再確認しました。ノートの日はもちろん、ご家庭でも時折見ていただけたら幸いです。

③宿題を忘れずに毎日すること

10月に始めた宿題完成ルームも継続しています。「こなす」ではなく「できる・分かる」学習となるように、早目に取り掛かり、静かな環境で集中して取り組みましょう。

④筆箱の中の整理整頓

必要な物が入っていない、鉛筆が丸いまま、消しゴムやペンで遊んだ形跡が…。筆箱の中の状態は、学習に丁寧に取り組んでいるか、集中しているかのバロメーターにもなります。宿題を終えた後、続けて翌日の準備と鉛筆を削ることを習慣にしてほしいものです。